

ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

通常投映時間・内容(10月～12月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
ほしふるよるに ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 ～地球のふしぎ～ ほしのおはなし(星空解説)	太陽系の惑星 ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 ～地球のふしぎ～ 星空解説 ※10/7(土)「親子プラネタリウム」は別内容となります。	月の仲間たち 星と海に抱かれて アジアヒーリング 星空解説 ※10/14(土)「星空ステージ」、28(土)「星空音楽館」は別内容となります。

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

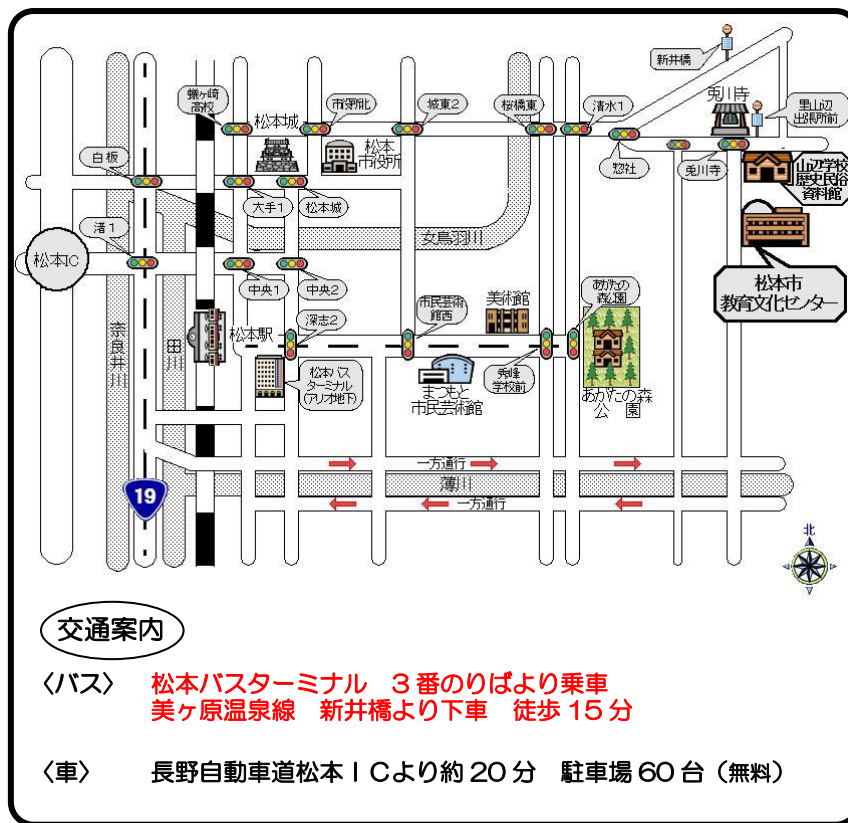
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp

星空クイズ！(銀河編)

渦巻銀河 M31 がある星座は？

- ①アンドロメダ座 ②さんかく座
③ペガサス座 ④ペルセウス座

☆ 教育文化センター プラネタリウム通信

ほしみる

No.52 2017. 9.30

秋の小宇宙 (あるいは島宇宙)

秋の夜空の見どころの 1 つは、「アンドロメダ銀河」や「さんかく座銀河」など、肉眼でも見られる銀河です。かつて銀河は、大宇宙に浮かぶ島のような小さな宇宙と例えられました。

銀河とは？

地上から見る姿は星雲(宇宙を漂うガスやちりがまとまって、肉眼では小さな雲のように見える天体)に似ていますが、実際には地球から遥かに離れた場所にある、星や星雲など様々な物質が集まって作られる巨大な天体です。
渦巻(うずまき)形や楕円(だえん)形、不規則(ふきそく)形など、様々なかたちがあります。

アンドロメダ銀河 (M31)

M32、M110 の 2 つの楕円銀河を伴う渦巻銀河です。見かけの明るさが 3.5 等級で、月明かりのない澄んだ夜空では肉眼で淡い雲のように見えます。実際には直径は 22 万光年と、天の川銀河の約 2 倍もある大変巨大な銀河です。230 万光年離れた位置にあります。かつては星雲と混同され、その名残で「アンドロメダ星雲」と呼ぶこともあります。

アンドロメダ座

古代エチオピア王国の
王女アンドロメダ

さんかく座

三角じょうぎ

さんかく座銀河 (M33)

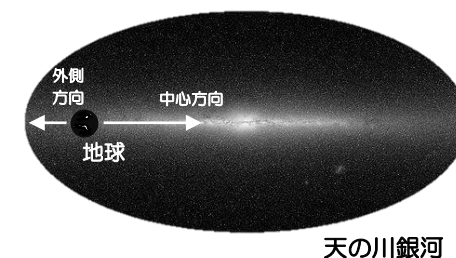
天の川銀河の約半分程度の渦巻銀河です。見かけの明るさが 5.7 等級なので肉眼での観察がやや困難ですが、月明かりがない澄んだ夜に双眼鏡を使うことで見えます。また、地球からはちょうど真上を見る位置にあり、渦巻の様子をよく観察できます。

ペガサス座

翼の生えた天馬

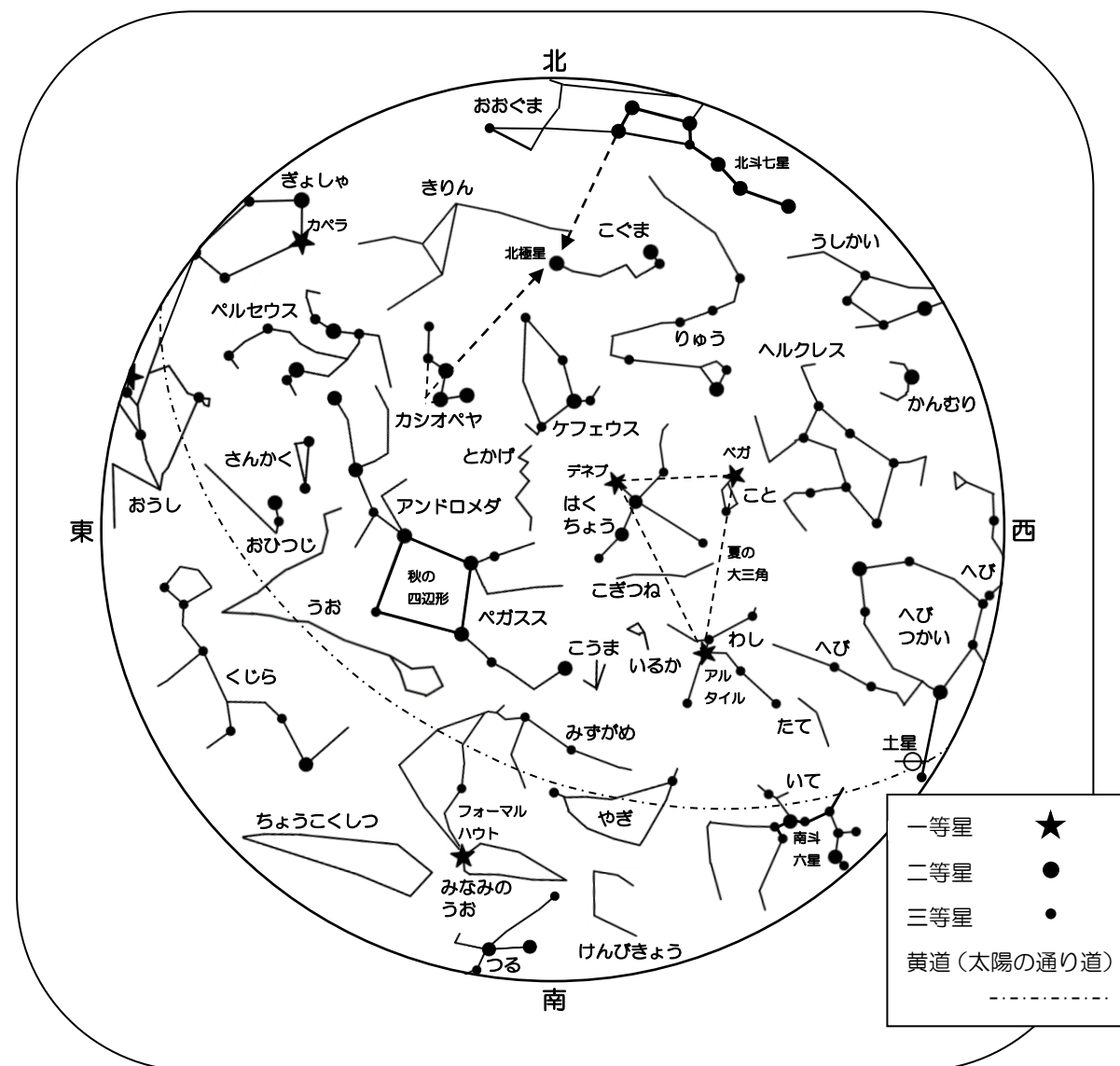
最も近くにある銀河は？

私たちが住む地球は「天の川銀河」の中にある天体です。天の川銀河は棒渦巻銀河で、真横から見ると真ん中がふくらんだ円盤形です。地球上から見る天の川は、天の川銀河の内側から見た姿です。地球は天の川銀河の端の方にあり、季節によって見る方向が変わります。夏は銀河の中心方向を向くため、川の姿が夜空の中で濃く見えます。逆に、冬は銀河の外側方向を向くので、淡く見えます。
天の川銀河は、比較的近くにあるアンドロメダ銀河やさんかく座銀河といずれ衝突し、1つの大きな銀河になると予想されていますが、星同士の衝突が起こる可能性は極めて低いそうです。



季節の星空

10月15日20時頃の松本の星空



10月の主な天文情報

- 4(水) 中秋の名月(十五夜)
- 6(金) 満月、金星と火星が大接近(日の出直前)
- 17(火) 土星の環が最も開く
- 18(水) 細い月と金星、火星が接近(日の出直前)
- 20(金) 新月、天王星がうお座で衝(一晩中)
- 21(土) オリオン座流星群が極大(見頃は23時～明け方、出現期間10/10～11/5)
- 24(火) 月と土星が接近(日没後～20時頃)

★ 衝→外惑星が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晩中観測でき、大きく明るく見えます。

★ 極大→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

10/7(土) ☆親子プラネタリウム 13:30～

親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。
今回のテーマは「第2の地球を求めて(惑星めぐり)」です。
申し込み不要。当日先着90人

10/14(土) ☆星空ステージ 15:00～

長野県「語り・おはなし・朗読」の会連盟のみなさんによる朗読を、プラネタリウムの星空の下でお楽しみいただきます。
申し込み不要。当日先着90人

10/28(土) ☆星空音楽館 15:00～

プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。
今回のテーマは「映画音楽特集(仮)」です。
申し込み不要。当日先着90人

特別講演会

テーマ「松本発138億光年宇宙の旅—つながっている宇宙・社会・いのち—」
宇宙について興味を深めよう。NHK ラジオ「ようこそ宇宙へ」の担当として知られている縣秀彦先生よりお話をお聞きします。

☆日時:平成29年11月25日(土)

13時10分～14時40分(開場12時40分)

☆会場:教育文化センター3階ホール

☆定員:先着160人 ☆入場料:無料

☆講師:縣秀彦先生

(国立天文台天文情報センター 准教授/普及室長)

☆対象:小学校高学年～大人

☆申し込み方法:10月24日(火)～11月23日(木)

「インターネット」または「電話」



中秋の名月

中秋の名月とは、旧暦で秋にあたる7月、8月、9月のうち、その真ん中である中秋、つまり旧暦の8月15日に見える月のことです。旧暦では新月の日が月初めとなり、中秋の名月は新月から数えて15日目となります。

一方、満月は地球からみて太陽と月が反対方向になる時を指し、必ずしも新月から15日目になるとは限りません。そのため、今年のように中秋の名月と満月が一致しない年もあります。今年の中秋の名月は10月4日となり、満月の2日前です。

